

東海大学理学部

数学科同窓会会報

第11号

【巻頭言】

東海大学名誉教授（理学部数学科）赤松豊博



本年3月に東海大学数学科を退職し半年が過ぎました。今年は8月末から9月にかけて寒暖の差が大きく、台風が何度も接近・上陸して大変でしたが、同窓会の皆さま方は恙なくお過ごしのことと推察いたします。退職後は健康

維持のため自宅近くの恩田川の遊歩道を散歩し、数学については基から勉強しなおすつもりで、まずは、集合・論理・位相の本を読んでいます。定理の証明等は出来る限り自力で行うよう心掛けています。時間は十分あると安心して怠けてしまい、あまり進んでいません。濃度に関するベルンシュタインの定理の証明を考えなおすと、一つの集合から部分集合への1対1写像の不動集合の存在が言えます。集合に適当な位相を入れ1対1写像の連続性を仮定すると不動点の存在が示せるのではないかと考えてみましたが、望むような結果は得られませんでした。ベルンシュタインの定理と不動点定理の間に深い関係はないのかもしれませんが。

39年間在籍して感じたことは、東海大学数学科には教員同志、教員と学生の間で言いたいことが言える自由闊達な雰囲気があることです。これは、数学の教育・研究に必要不可欠なことです。ここ数年、優秀な若い先生方が数学科に就任され、数学科も大きく変わろうとしています。この良き伝統が引き継がれていくよう願っています。30年後には人間の知的活動の多くが人工知能に取って代わられるだろうと予測されています。しかし、人工知能のプログラムは数学の記号で書かれていますし、微分方程式などの新しい解法の発見、数学に特有の存在定理・非存在定理の証明が人工知能にできるとは思えません。むしろ、人工知能が発達するほど社会で数学の果たす役割が増し、数学科の存在意義が失われることはないだろうと思います。数学科と数学科同窓会が益々発展するよう願っています。

【私のセカンドライフの一端】

1968年度 理学部数学科基礎数学専攻卒業 堀内登はじめに

私は1969年3月東海大学理学部数学科基礎数学専攻を卒業し、同年4月JA共済連に入会し、各種共済の共済掛

金の算定を業務とする数理部と各種共済の仕組改訂・新種開発を業務とする開発部を主として、2007年3月定年退職まで、共済事業一筋に38年間勤め、以後、嘱託職員として共済計理人室に1年、更に、総務省東京行政評価事務所に3年勤め、2011年3月サラリーマン生活42年間に終止符を打つことになりました。

セカンドライフへの足固め

サラリーマン生活の終盤頃から、自分としても老後生活は、都市より田舎暮らしを考えるようになりました。

そして、これまで住んでいた動産、不動産の売却と田舎での動産、不動産の取得を並行して行いました。動産、不動産の売却は、6か月で済みましたが、取得の方は、諸々苦勞し、故郷にUターンして借家住まいをして漸く1年7か月で取得しました。

故郷への恩返し

2013年10月に故郷で動産、不動産を取得し、セカンドライフとしての生活基盤となることから、2014年の1年間、地元地区の組長、区長、区長会会長を引き受け、地元地区の自治会活動全般に渡り、執り行いました。また、Uターンと同時に町の運営に協力する立場から「まちづくりワークショップ」という会に入会しました。

まちづくりワークショップでの活動

「まちづくりワークショップの会」は、住みやすいまちづくりに協力する立場から、諸課題について提言し、町の発展に寄与することを目的とする会です。これまでもインフラ、資源、自治、環境、観光、防災などについて、話し合い、一定の成果を果たしてきました。今年度も3月長野県小布施町、10月に岐阜県高山市・石川県輪島市に研修旅行に行き、他県における優良事例の習得に出掛け、参考にさせて頂いています。

終わりに

数学教育について日頃思っていることを一言申し上げます。数学は、特に、理科系の者にとっては、欠かすことのできない学問であり、今後も益々重要視される学問です。それ故、数学の基礎研究に力を注ぐ必要があります。しかし、近年、大学教育の理学部に数学科を設けなくなっている大学が増えており、数学の将来は固より基礎科学の発展にも期待出来ないかと危惧しています。この事は、今年度ノーベル賞の医学生理学賞を授与された大隅良典先生も基礎科学の基礎研究を取り巻く危機的な状況の改善を訴えられて、直ぐに結果や利益に直結する応用研究に重点が置かれている現況に嘆き悲しんおられたことと全く同じ状況だと思えます。

最後になりましたが、今年度、山梨県は県政功績者を発表し、「教育文化」の分野で、1968年度 東海大学理学部基礎数学専攻卒業の同期生で山梨県甲府市出身の「原敏彦」氏が表彰されましたので、この場をお借りしまして報告致します。因みに、履歴は次の通りです。元県高校PTA連合会事務局長、元県高校体育連盟副会長、元県高校文化

連盟副会長、元県高校長協会会長、元甲府西高校長。謹んで
お祝い申し上げます。

【数学科に入学してからを振り返ると】

1985年度卒業 溝淵奈津江（旧姓 岩崎）
私は1982年4月理学部数学科に入学、今でも覚えています。 学生番号 20SM1106

1年、初めてのことばかりでまじめに授業を受け2年、
余裕ができ単位を落とし3年、あわててまた勉強し4年、
卒業研究は「数学史」の川尻ゼミ、テキストが英文だった
為、英語の苦手な私はあの時が人生で一番英語を勉強した
のかもしれませんが。 後日買った訳本「数学の歴史」は今
も大切にしています。

そして川尻ゼミで忘れてはいけないのが珈琲です。珈琲
を飲みながらの卒業研究でした。

当時、珈琲が苦手だった私も今では大の珈琲好きです。

珈琲のおいしさを教えてくれたのも川尻先生だったと
いうことですね。

数学科を卒業してSEとして働き、バブルがはじけ退職
し専業主婦になりました。当時最先端の仕事をしていた私
も今ではスマホを子どもに教わる始末です。

数学科を卒業して30年が経ち子育ても落ちついて今は
自由な時間を楽しんでいます。

そのひとつが数学科同窓会25周年祝賀会への参加でし
た。

私の学年は私ひとりだけでしたが初めて会う先輩、後輩
の方々とお話ができて有意義な時間を過ごすことができま
した。

同期の横の繋がりでなく先輩、後輩の縦の繋がりも
あるって、この歳になると幸せに感じます。だから次の
30周年の会を今から楽しみにしています。そしてその時
にお会いできたらと思う人が硬式野球部のマネージャー
をされていた方です。

毎年楽しみにしている会報で存在を知りました。私の時
代には硬式野球部は遠い存在でしたから、私になれたのは
準硬式野球部のマネージャーで、それでもなれてうれしか
ったです。

お会いできたら、大好きな野球の話をしたいです。

今回の投稿をきっかけに数学科同窓会の皆様と交流を
広げていけたらうれしいです。

最後に数学科同窓会を運営していただいている役員さ
んに感謝して数学科同窓会がよりいっそう栄えることを
願っています。

natsu713@ruby.net.tokai-u.jp

【数学科入学から5年を経て】

2014年度 理学部数学科卒業 阿部真大

東日本大震災が起きた2011年、地元福島を離れてしま
うことの不安と新たな生活への期待とを抱えながら東海
大学に入学してから、はや5年が経ちました。当時は、教
員になるという夢を抱えながら大学生活をスタートした
私が、卒業後には本当にその夢を叶えて巣立っていくこと
になるとは正直思いませんでした。そして、今ではその教
員生活も2年目の半年が過ぎ、自ら担任として現場で奮闘
していることと、その月日の巡る速さに驚きを隠せません。

そうした自分が今こうしているのは、大学での様々な人
たちとの出会いと、そういった人たちの支えあつてのもの
です。この原稿依頼をしてくださった前田先生は入学して
すぐのゼミの先生でした。その前田先生をはじめとした、
先生方が私たちの日々の学びを熱心に支えてくれました。

友人との出会いも勿論忘れることはできません。時には
ふざけあい、時には学びあい、そうして長い時間を過ごす
うちに、同じ志を持って教員を目指す友もできました。大
学時代の一番の思い出と言われたら、その友人たちと切磋
琢磨しあい、一緒に教員としての船出を迎えたことではな
いかと思います。私と関りをもった全ての人に感謝の気持
ちでいっぱいです。

今、教育現場では大学では学べなかったことを実際の
様々な経験とともに学んでいます。嬉しいことも勿論あれ
ば、苦しいこともそれ以上にある毎日です。それでも充実
した毎日をごさせているのは、先に述べた人たちとの時間
があるからではないかと思っています。そして今度は自分が、
これからの世代を担う子供たちを育てていかなければなり
ません。自分が学んできたことをしっかりと繋いでいき
たいと思います。

最後になりますが、5年、10年と過ぎたのちも初心を
持ち続けられる教員でありたいと思います。皆様方のご活
躍とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶と代えさせてい
たできます。ありがとうございました。

【同窓会の活動状況】

2015年度は2016年3月25日の学位授与式で同窓会賞
は遠藤潤一郎さんに授与されました。



(2016年3月25日の山田会長のあいさつ風景)

例年、11月3日の大学の同窓会ホームカミングデーに合わせて数学科同窓会も18号館理学部棟の8階で開催しています。今年は根本先生や赤松先生、前田先生、山本先生が出席され、先輩、後輩が集い、話に花を咲かせています。家族ずれでの参加もあり楽しく過ごしています。お気軽に参加してください。お待ちしております。会報の送付を行っています。周りで届いていない人がいましたら事務局までご連絡ください。お送りいたします。

OB, OGとして学生支援に役立てるよう協力して行くではありませんか。

同窓会として協力できることは実施していきたいと思っておりますので、お力添えのほどよろしくお願いいたします。



(11月3日の根本先生、赤松先生、山田会長の懇談風景)



(11月3日の前田先生と参加者の懇談風景)



数学科同窓会の会員数は
2015年4月現在：4277名です。

【事務局便り】

数学科同窓会の会報は卒業生や先生方からのメッセージや大学の現況、さらに懐かしい先生からの思い出など、



(2015年11月3日の同窓会にて)

同窓生にとって有意義な情報発信ができればと思っています。800文字+写真など原稿をお届けください。次号に掲載させていただきます。また、興味のある企画などありましたら積極的にお寄せください。

卒業生の寄稿も歓迎です。また、一言メッセージを随時募集しています。また広告の掲載も募集しています。掲載を希望される人は下記の連絡先にお問い合わせください。数学科同窓会に関するお問い合わせも、下記の連絡先までお寄せください。E-mailでお待ちしております。

連絡先

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
東海大学理学部数学科同窓会事務局
事務局長：原田三行（70年度卒）
e-mail：zharada@star.tokai-u.jp

同窓会の運営経費は会員皆様の会費によって維持されております。一口2000円（何口でも可）を次の郵便口座まで振り込んでいただきますよう皆様のご協力をお願いいたします。なお、納入者については会報に掲載しご報告とさせていただきます。

口座番号：10200-25747091
口座名：東海大学数学科同窓会

【同窓会費納入者名簿】敬称略

【2015年度】

浅見周、荒井勇樹、池田嶺哉、石上茜、伊志嶺圭司、遠藤潤一郎、大浜拓人、大森彩香、小野澤康夫、甲斐雄仁、鏡田洋輝、桂隆太郎、金子萌仁香、栗原直也、黒澤翔梧、後藤真吏奈、坂元拓弥、作馬幸樹、佐藤夕夏、

佐藤隆世、澁田宏太、須田貴之、関戸勇磨、高見優、
田中大喜、棚橋瞬哉、谷口真人、永倉裕一郎、中西美穂、
中野智広、萩野裕人、長谷川慎、服部敦、東由莉絵、
藤巻涼、古野明日香、細野頌悟、山岸健、横田幸一、
吉田瑠莉、渡邊美紗

【2016年】

山崎則夫

ありがとうございました。

【2015年度理学部数学科教員名簿】

| | | | |
|------|-------|------------|-------|
| 湘南校舎 | 主任 教授 | マダ ヨウイチ | 前田陽一 |
| 湘南校舎 | 教授 | イト タツオ | 伊藤達夫 |
| 清水校舎 | 教授 | ウラハ マサツク | 占部正承 |
| 湘南校舎 | 教授 | キキ シン | 桐木紳 |
| 高輪校舎 | 教授 | サイ トシノリ | 酒井利訓 |
| 湘南校舎 | 教授 | シマ アキコ | 志摩亜希子 |
| 札幌校舎 | 教授 | チン ウンゴウ | 陳蘊剛 |
| 高輪校舎 | 教授 | カハタ ノボル | 中畑登 |
| 清水校舎 | 教授 | カムラ アキヒロ | 中村昭宏 |
| 湘南校舎 | 教授 | フルヤ ヤスオ | 古谷康雄 |
| 清水校舎 | 教授 | ホリ キョウシ | 細野潔 |
| 湘南校舎 | 教授 | ヤマモト ヨシロウ | 山本義郎 |
| 湘南校舎 | 教授 | トイ マコト | 土井誠 |
| 清水校舎 | 准教授 | マツダ カツミ | 松田克己 |
| 高輪校舎 | 准教授 | キダ ケンシ | 貴田研司 |
| 湘南校舎 | 准教授 | ササキ アツム | 笹木集夢 |
| 湘南校舎 | 准教授 | ツキカ トオル | 月岡透 |
| 湘南校舎 | 准教授 | ウエキ セイイチロウ | 植木誠一郎 |
| 湘南校舎 | 講師 | ツジ タカエ | 都地崇恵 |
| 湘南校舎 | 講師 | カガイ ヒデトモ | 長井秀友 |
| 湘南校舎 | 講師 | カヤマ ヒロマサ | 中山洋将 |
| 湘南校舎 | 講師 | タキ シンゴ | 瀧真語 |
| 湘南校舎 | 講師 | カガリ ノボル | 小川竜 |

以上

【編集後記】

会報も新たな一步を踏み出し 11 号を発行する運びとなりました。お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様に深く感謝をすると同時に、今後とも数学科同窓会の発展のためにご協力を頂きますようお願いいたします。

ある大学ではクラスという概念が希薄となり学科ごとの同窓会がないところもあるようです。科目ごとに各学科からの受講生が集まり、またばらばらになっていく。卒研単位、ゼミ単位とクラス会的な集まりが多くなっているようです。数学科同窓会には年代を超えて交流ができる良さを感じます。大学も厳しい状況になっていると思いますが、同窓会としても何か後方支援ができればよいと考えます。皆様方のご活躍とご支援よろしく願いいたします。

(み)



(数学科研究室のある 18 号館)

【数学科同窓会役員】

| | | |
|------|---------|----------|
| 会長 | 山田正和 | (69 年度卒) |
| 副会長 | 松尾久美子 | (70 年度卒) |
| 〃 | 中村昭宏 | (76 年度卒) |
| 事務局長 | 原田三行 | (70 年度卒) |
| 幹事 | 千葉彰悟 | (69 年度卒) |
| 〃 | 沢野重春 | (70 年度卒) |
| 〃 | 坂井和也 | (80 年度卒) |
| 〃 | 岡安英文 | (80 年度卒) |
| 〃 | 山本義郎 | (91 年度卒) |
| 代議員 | 各年代 2 名 | |
| 会計 | 泉水博 | (00 年度卒) |
| 監査 | 手塚政夫 | (70 年度卒) |



【発行】

発行日 2016 年 11 月 3 日
編集 東海大学理学部数学科同窓会会報編集委員会
発行人 山田正和
発行所 東海大学理学部数学科同窓会
〒259-1292
神奈川県平塚市北金目 4-1-1